

目次 (令和5年度実施計画書)

【施策の大綱5】中城の魅力を創造し発展させます

ページ	大綱	分野	事業名	担当課
118	5	13-1	さとうきび優良種苗安定確保事業	産業振興課
119	5	13-1	さとうきび病害虫防除事業	産業振興課
120	5	13-1	一般農薬及び農産物出荷資材購入補助事業	産業振興課
121	5	13-1	農業用廃プラスチック適正処理	産業振興課
122	5	13-1	島ヤサイ産地拡大推進事業	産業振興課
123	5	13-1	中城村農業振興推進事業	産業振興課
124	5	13-1	荒廃農地再生・利用推進事業	産業振興課
125	5	13-1	中城農業振興地域整備計画全体見直し(計画策定)業務	産業振興課
126	5	13-1	農業用水対策施設設置補助事業	産業振興課
127	5	13-1	農業次世代人材投資事業(旧青年就農給付金事業)	産業振興課
128	5	13-1	家畜伝染病予防事業	産業振興課
129	5	13-1	農地耕作条件改善事業	産業振興課
130	5	13-1	土地改良施設維持管理適正化事業	産業振興課
131	5	13-1	農業委員会運営事業	農業委員会
132	5	13-1	機構集積支援事業	農業委員会
133	5	13-3	中城村商工会育成補助金	産業振興課
134	5	13-3	石油貯蔵施設立地対策等補助金事業	産業振興課
135	5	13-4	中城村シルバー人材センター育成補助金	産業振興課
136	5	13-4	沖縄中部勤労福祉サービスセンター補助金	産業振興課
137	5	13-5	ホームページ委託管理事業	産業振興課
138	5	13-5	中城城跡共同管理協議会負担金	産業振興課
139	5	13-5	中城村観光協会補助金	産業振興課
140	5	14-2	プロサッカーキャンプ誘致事業	産業振興課

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 さとうきび優良種苗安定確保事業

令和4年度 事業費	795 千円	令和5年度 事業費	795 千円	対前年度 増減額	0 千円	総事業費 (令和5～7年度)	2,385 千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	--------------	--------	-------------	------	-------------------	----------	------	------

事業概要  無病性・強い発芽力・高品質・高収量などの特徴を持つ優良種苗の原種苗及び採種苗を圃場に設置し、生産農家へ栽培管理を委託して増殖させ、優良種苗の安定確保を推進する。	第五次総合計画での位置付け							担当課	
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます					産業振興課		
	基本施策	⑩経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係	農政係	
	分野	13-1 農業の振興					担当名	比嘉 由美	
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン					内線番号	232	
事業期間	平成	1	年	～	令和		年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
<p>さとうきびの生産安定と品質向上を目的に沖縄県奨励品種の原種苗及び採種苗を圃場に設置し、優良種苗の確保及び普及を図る。</p> <p>優良品種の普及と併せて、地域に適した品種選定、品種の特性を活かした栽培方法等の普及していき生産量の向上が課題である。</p>	<p>安定多収品種の優良種苗を普及することでさとうきびの品質向上、生産量向上に寄与している。</p>

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	745	苗圃設置委託料	委託費	745	苗圃設置委託料	委託費	745	苗圃設置委託料
需用費	50	消耗品費	需用費	50	消耗品費	需用費	50	消耗品費
合計	795		合計	795		合計	795	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	さとうきび優良種苗安定確保事業委託金	291	千円 36.6%	県補助金名	さとうきび優良種苗安定確保事業委託金	291	千円 36.6%	県補助金名	さとうきび優良種苗安定確保事業委託金	291	千円 36.6%
地方債				地方債				地方債			
その他( )				その他( )				その他( )			
一般財源		504	千円 63.4%	一般財源		504	千円 63.4%	一般財源		504	千円 63.4%

令和5年度目標 (KPI等)	奨励品種を推奨し、さとうきびの品質向上及び反収増加を図る。 令和3/4年期生産量 2,354 t 以上	令和5年度との相違点	地域に適した新品種の検討・選定	令和6年度との相違点	新しい品種の選定及び農家への普及
今後の展開	関係機関及び生産者の意見を基に地域に適した品種の選定を行う。	目標	品質向上及び反収増加	目標	品質向上及び反収増加

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	さとうきび病害虫防除事業									
-----	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	549	千円	令和5年度 事業費	736	千円	対前年度 増減額	187	千円	総事業費 (令和5～7年度)	1,647	千円	事業区分	継続事業
--------------	-----	----	--------------	-----	----	-------------	-----	----	-------------------	-------	----	------	------

事業概要  さとうきび病害虫（がたー及び野そ）一斉防除を行うため生産農家に対し農薬の配布を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	比嘉 由美
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	232
事業期間	平成	1	年	～	令和		年	積算資料	有				

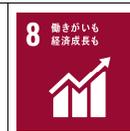
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
近年、多様化する病害虫の異常発生によりさとうきび生産量に影響を及ぼしている。発生を抑制し生産量の向上を図るため、生産農家に対し農薬を配布し一斉防除を実施する。がたーや野そについては一斉防除により被害が軽減されているが、それ以外の病害虫（イネヨトウ、カンシャワタアブラムシ等）に対しても対策が必要である。	病害虫防除によりさとうきびの品質向上が図られている。防除はさとうきび栽培に欠かせない作業であり、また交付金（甘味資源作物）の交付要件であることから、継続して実施する。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需用費	736	農薬配布消耗品費	需用費	736	農薬配布消耗品費	需用費	736	農薬配布消耗品費
合計	736		合計	736		合計	736	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		736	千円 100.0%	一般財源		736	千円 100.0%	一般財源		736	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	さとうきびの病害虫防除事業を実施し、多様化する病害虫の発生を抑制し生産量の向上を図る。 令和3/4年期生産量 2,354 t	令和5年度との相違点	農薬散布の適正量の周知及び農業機械をうまく活用した農薬散布方法の検討・普及	令和6年度との相違点	農薬散布の適正量の周知及び農業機械を活用した農薬散布方法の普及
今後の展開	関係機関と協議し、防除方法や薬剤の効果を加味したより良い農薬の検討。	目標	多様化する病害虫発生の抑制及び作業効率化	目標	多様化する病害虫発生の抑制及び作業効率化

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 一般農薬及び農産物出荷資材購入補助事業

令和4年度 事業費	1,898 千円	令和5年度 事業費	1,791 千円	対前年度 増減額	▲ 107 千円	総事業費 (令和5～7年度)	5,694 千円	事業区分	継続事業
--------------	----------	--------------	----------	-------------	----------	-------------------	----------	------	------

事業概要 J A 沖縄・花き農協組合員（花き・果樹・野菜）が農薬及び出荷資材を購入する際に補助（10%）を行い農家経営の負担を軽減し本村の農業振興を補助する。	第五次総合計画での位置付け							担当課	
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます					産業振興課		
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係	農政係	
	分野	13-1 農業の振興					担当名	比嘉 由美	
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン					内線番号	232	
事業期間	平成	1	年	～	令和	年	積算資料	有	

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
作物の多様化する病気や病害虫対策としての農薬補助及び高騰する出荷資材の現状があるため、購入補助を行い、生産経費を軽減し、農家の経営安定を図る必要がある。	農家負担を軽減し、農家の経営安定を図るために。今後も継続して事業を実施し農家経営の安定に寄与する。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金補助	1,220	一般農薬補助金	負担金補助	1,220	一般農薬補助金	負担金補助	1,220	一般農薬補助金
	571	農産物出荷資材購入補助金		571	農産物出荷資材購入補助金		571	農産物出荷資材購入補助金
合計	1,791		合計	1,791		合計	1,791	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		1,791 千円	100.0%	一般財源		1,791 千円	100.0%	一般財源		1,791 千円	100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	農家経営の安定化補助件数・金額	令和5年度との相違点	補助の継続的な実施	令和6年度との相違点	補助の継続的な実施
今後の展開	農家経営の安定化を目指す。	目標	農業経営の安定化	目標	農業経営の安定化

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	農業用廃プラスチック適正処理				
-----	----------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	745 千円	令和5年度 事業費	725 千円	対前年度 増減額	▲ 20 千円	総事業費 (令和5～7年度)	2,235 千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	--------------	--------	-------------	---------	-------------------	----------	------	------

<b>事業概要</b>  中城村農業用廃プラスチック適正処理対策協議会が農家からの委任を受け農業用廃プラスチック類の業者を選定し、回収作業の日程を調整する（年間2回）処理業者へ処理を委託することにより、農業経営の安定化を図り、村内の農業振興を図る。	第五次総合計画での位置付け					担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力創造し発展させます				産業振興課		
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します				担当係	農政係	
	分野	13-1 農業の振興				担当名	比嘉 由美	
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン				内線番号	232	
事業期間	平成	23	年	～	令和	年	積算資料	有

<b>事業を実施する必要性と現状の課題</b>  農業生産における廃プラスチック類は、農家自らの責任で適正に処理することが義務付けとなっているが、処理費の負担が多く、また、農業経営が小規模な農家が多いことから、協議会で一括で委任を受け回収時期、回収の際の仕分け、梱包の方法、付着物除去や産廃の発生抑制、再利用等の周知をし処理業者へ搬入する。周知に際しては村のHPや広報誌・防災無線を活用	<b>事業実施効果</b>  農業用廃プラスチックの適正処理と農家負担の軽減（処理料・マニフェスト交付事務等）が図られている。適正な回収処理を行うことで生活環境・公衆衛生の向上へ寄与している。
---	--

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	725	農業施設廃ビニール処理事業補助金	補助金	725	農業施設廃ビニール処理事業補助金	補助金	725	農業施設廃ビニール処理事業補助金
合計	725		合計	725		合計	725	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		725 千円	100.0%	一般財源		725 千円	100.0%	一般財源		725 千円	100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	回収方法の指導徹底	令和5年度との相違点	回収方法の指導徹底	令和6年度との相違点	回収方法の指導徹底
今後の展開	関係機関と調整し、適正処理を行う。	目標	回収方法についての周知・指導	目標	回収方法についての周知・指導

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 島ヤサイ産地拡大推進事業									
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	163 千円	令和5年度 事業費	163 千円	対前年度 増減額	0 千円	総事業費 (令和5～7年度)	489 千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	--------------	--------	-------------	------	-------------------	--------	------	------

事業概要  島ヤサイの産地力強化を推進するため、美ら島財団へ栽培研究・指導を委託し、安定生産技術の現地実証とその効果の確認による生産農家への栽培指導、技術の普及活動等を実施する。	第五次総合計画での位置付け						担当課	
	施策の大綱	5. 中城の魅力創造し発展させます					産業振興課	
	基本施策	⑩経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興					担当名	比嘉 由美
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン					内線番号	232
事業期間	令和	3	年	～	令和	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
中城村の特産品である、島ニンジン近年の異常気象や多様化する病害虫の発生により品質及び出荷量が低下している。また、県内において島ニンジンの産地としての知名度も低い。本事業を活用して効率的な栽培方法の実証試験、技術の普及により品質及び生産量の向上や流通量の拡大を図る。	展示圃を設置し現地実証を行い、実証結果を生産農家へ普及する事により島ニンジンの品質及び生産量向上が期待できる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	163	栽培研究・指導	委託料	163	栽培研究・指導	委託料	163	栽培研究・指導
合計	163		合計	163		合計	163	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源	163	千円	100.0%	一般財源	163	千円	100.0%	一般財源	163	千円	100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	島ニンジン出荷数量の増加を目指す。 目標作付面積 6ha	令和5年度との相違点	島ニンジン増産に向けた栽培方法の確立及び作業省力化の実証・普及	令和6年度との相違点	島ニンジンの県外出荷に向け検討を行う。
今後の展開	島ニンジンの更なる品質向上。	目標	作付面積の現状維持 6ha	目標	作付面積の現状維持 6ha

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	中城村農業振興推進事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	6,252	千円	令和5年度 事業費	5,817	千円	対前年度 増減額	▲435	千円	総事業費 (令和5～7年度)	17,451	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	------	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要  重点品目の栽培技術の向上及び新たな推奨品目の検討に向けた栽培試験を行う。また、農業指導員を配置し、営農巡回指導を行うことにより生産農家の経営の安定化を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	山下
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	232
事業期間	令和	4	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
生産農家は日常の栽培管理や収穫作業等に追われ、栽培技術の向上や新たな品目の検討にむけた栽培試験が実施できていない。その様な中、栽培技術の指導・支援に対する要望が多くあり、栽培技術の普及に向けた取組が必要である。	栽培技術の向上及び推奨品目の検討に向けた試験栽培を実施し、よりよい栽培方法や新たな品目を普及する事により、農作物の品質及び農家所得の向上に取り組むことができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	4,384	農業指導員1人、補助員1人	報酬	4,384	農業指導員1人、補助員1人	報酬	4,384	農業指導員1人、補助員1人
期末手当	895	2名分(2.45年)	期末手当	895	2名分(2.45年)	期末手当	895	2名分(2.45年)
旅費	206	2名分	旅費	206	2名分	旅費	206	2名分
消耗品	300	栽培試験用資材	消耗品	300	栽培試験用資材	消耗品	300	栽培試験用資材
土地賃借料	32	試験圃場	土地賃借料	32	試験圃場	土地賃借料	32	試験圃場
合計	5,817		合計	5,817		合計	5,817	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円	千円		国庫補助金名	千円	千円		国庫補助金名	千円	千円	
県補助金名	沖繩振興特別推進交付金	4,653	80.0%	県補助金名	沖繩振興特別推進交付金	4,653	80.0%	県補助金名	沖繩振興特別推進交付金	4,653	80.0%
地方債				地方債				地方債			
その他( )				その他( )				その他( )			
一般財源		1,164	20.0%	一般財源		1,164	20.0%	一般財源		1,164	20.0%

令和5年度目標 (KPI等)	・栽培講習会1回 ・栽培試験2品目以上	令和5年度との相違点	・栽培試験2品目以上 ・実証試験の実施	令和6年度との相違点	・栽培試験2品目以上 ・栽培指針の作成に向けた検討
今後の展開	継続的な栽培試験の実施 栽培技術の普及	目標	継続的な栽培試験の実施 実証試験の実施	目標	継続的な栽培試験の実施 栽培指針作成に向けた検討

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	荒廃農地再生・利用推進事業									
-----	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	270	千円	令和5年度 事業費	960	千円	対前年度 増減額	690	千円	総事業費 (令和5～7年度)	2,280	千円	事業区分	継続事業
--------------	-----	----	--------------	-----	----	-------------	-----	----	-------------------	-------	----	------	------

事業概要  認定新規就農者及び中心経営体等の農業者が、荒廃農地を引き受けて営農を再開するために行う再生作業、土地改良を支援する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	山下
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	232
事業期間	令和		年	～	令和		年	積算資料					

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
農家の高齢化や後継者不足により農業人口が減少し耕作放棄地が増加してきている。しかし、近年は、村外からの新規就農者が少しずつ増えてきているが農地の借用について、地権者が借地を希望する農地は、ほとんどが耕作放棄地で就農を開始するにあたり借手の負担になっている。	本事業により、新規就農者やその他就農者等の営農活動を支援することより、営農規模の拡大を図り農家所得の向上及び耕作放棄地の解消を目指す。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	960	補助率3/4以内、10aあたり上限20万	補助金	660	補助率3/4以内、10aあたり上限20万	補助金	660	補助率3/4以内、10aあたり上限20万
合計	960		合計	660		合計	660	

財源内訳				財源内訳				財源内訳						
国庫補助金名	千円	千円	%	国庫補助金名	千円	千円	%	国庫補助金名	千円	千円	%			
県補助金名	荒廃農地再生・利用推進事業補助金	480	千円	50.0%	県補助金名	荒廃農地再生・利用推進事業補助金	330	千円	50.0%	県補助金名	荒廃農地再生・利用推進事業補助金	330	千円	50.0%
地方債			千円		地方債		千円		地方債		千円			
その他( )	農家負担	240	千円	25.0%	その他( )	農家負担	165	千円	25.0%	その他( )	農家負担	165	千円	25.0%
一般財源		240	千円	25.0%	一般財源		165	千円	25.0%	一般財源		165	千円	25.0%

令和5年度目標 (KPI等)	・荒廃農地解消33a ・担い手農家への農地集積1件	令和5年度との相違点	・荒廃農地解消33a	令和6年度との相違点	・荒廃農地解消33a
今後の展開	継続的な事業の実施	目標	・継続的な事業の実施 ・担い手農家への農地集積	目標	・継続的な事業の実施 ・担い手農家への農地集積

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 **中城農業振興地域整備計画全体見直し（計画策定）業務**

令和4年度 事業費	5,830 千円	令和5年度 事業費	4,400 千円	対前年度 増減額	▲ 1,430 千円	総事業費 (令和5~7年度)	4,400 千円	事業区分	継続事業（公約）
--------------	----------	--------------	----------	-------------	------------	-------------------	----------	------	----------

事業概要  昨年度の基礎調査を基に、中城農業振興地域整備計画の変更（全体見直し）を行う。	第五次総合計画での位置付け							担当課	
	施策の大綱	5. 中城の魅力を生み出し発展させます					産業振興課		
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係	農政係	
	分野	13-1 農業の振興					担当名	山下	
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン					内線番号	232	
事業期間	令和	年	～	令和	年	積算資料			

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
本村は約380haを農振農用地区域として指定しているが、農用地区域の地権者からは土地の利用に関し農業以外の土地利用についての相談が多く寄せられており全体見直しによる農振農用地区域の土地利用計画の変更を行う必要がある。	中城農業振興地域整備計画の変更（全体見直し）の変更を行うことにより効率的な土地利用を図ることが出来る。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	4,400	計画策定						
合計	4,400		合計	0		合計	0	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		4,400 千円	100.0%	一般財源		千円		一般財源		千円	

令和5年度目標 (KPI等)	新たな中城農業振興地域整備計画の策定	令和5年度 との相違点		令和6年度 との相違点	
今後の展開	農用地の効率的な活用	目標		目標	

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 農業用水対策施設設置補助事業									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	500	千円	令和5年度 事業費	300	千円	対前年度 増減額	▲ 200	千円	総事業費 (令和5～7年度)	900	千円	事業区分	継続事業
--------------	-----	----	--------------	-----	----	-------------	-------	----	-------------------	-----	----	------	------

事業概要 農業生産性の向上を図る目的で農業用水の確保のための施設（打ち込み井戸、堀井戸、ボーリング井戸）を設置した個人又は団体に対し、経費の50%以内で、補助金限度額10万円を交付する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑩経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	護得久
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	234
事業期間	平成	26	年	～	令和		年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
農業の生産性を向上させるためには、農業用水の安定的な確保が必要になる。農業用水確保のための施設設置を補助することにより、中城村の農業者が安定して生産できる環境を構築する。補助導入者が少ないので、HPや広報誌、中城村の農業関係者を通して農家への周知を図りたい。	既存の農業者および新規就農者が新たに取得した農地の初期費用負担を軽減させる。また、干ばつ時の被害軽減も図られており、中城村の農業生産物の安定生産に寄与している。 (平成26年～令和3年度実績値15件)

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	300	補助率1/2以内、1基あたり上限10万 3基	補助金	300	補助率1/2以内、1基あたり上限10万 3基	補助金	300	補助率1/2以内、1基あたり上限10万 3基
合計	300		合計	300		合計	300	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		300	千円 100.0%	一般財源		300	千円 100.0%	一般財源		300	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	対象とする農業者を減らして、現在の1基10万補助を15万補助に上限を引き上げる 3件補助	令和5年度との相違点	中城村在住の農業者への事業周知および施設導入の推奨	令和6年度との相違点	中城村在住の農業者への事業周知および施設導入の推奨
今後の展開	新規で農地を所得した者に補助事業を周知する。	目標	農業用水対策施設設置3基	目標	農業用水対策施設設置3基

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金事業）				
-----	-------------------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	1,500千円	令和5年度 事業費	1,500千円	対前年度 増減額	0千円	総事業費 (令和5～7年度)	1,500千円	事業区分	継続事業
--------------	---------	--------------	---------	-------------	-----	-------------------	---------	------	------

事業概要 市町村長に認定された認定新規就農者で、人・農地プランに位置付けられた就農5年未満の青年（就農されるとき年齢が原則50歳未満）の方を対象に、経営が不安定になりがちな就農直後（5年以内）の所得を確保するため、年間最大150万円の交付金を最長5年間給付する。	第五次総合計画での位置付け						担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます					産業振興課		
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係	農政係	
	分野	13-1 農業の振興					担当名	護得久	
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン					内線番号	234	
事業期間	平成	24	年	～	令和	5	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題 経営の不安定な就農後5年以内の青年就農者に対して、経営開始型の農業次世代投資金を交付することにより、青年農業者の所得を安定させて農業への定着を図る。中城村での農業従事者を増やすため、就農希望者への事業の周知を徹底する必要がある。	事業実施効果 就農直後で収入が不安定な青年就農者に対して、経営開始型の農業次世代投資金を交付することにより、青年就農者の収入を安定させて定着を図れている。また、青年就農者が増加することにより、中城村における農業従事者の若年化、および農地需要の向上による耕作放棄地解消が期待できる。
--	---

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	1,500	農業次世代人材投資金						
合計	1,500		合計	0		合計	0	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	農業次世代投資事業	1,500	100.0%	県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		千円		一般財源		千円		一般財源		千円	

令和5年度目標 (KPI等)	対象農家の農業定着、新規就農者2名の確保	令和5年度との相違点		令和6年度との相違点	
今後の展開	交付対象農家の就農状況に応じた営農指導等の農業定着を図るサポート。	目標		目標	

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	家畜伝染病予防事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	270	千円	令和5年度 事業費	270	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和5～7年度)	810	千円	事業区分	継続事業
--------------	-----	----	--------------	-----	----	-------------	---	----	-------------------	-----	----	------	------

事業概要  家畜の伝染病疾病の派生を予防し、まん延を防止するため、ワクチン代を農家へ補助する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑩経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	護得久
	その他関係施策											内線番号	234
事業期間	平成	24	年	～	令和		年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
畜舎内の家畜が伝染病に感染することにより、殺処分等で農家の経営に深刻な打撃を与えないよう、伝染病を予防する必要がある。	家畜伝染病予防を確立することにより、畜産農家の安定的な経営をサポートしている。また、他の市町村への感染予防にもなっており、県産品の食用肉安定供給にも貢献している。 (R3家畜伝染病報告数0件)

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報償費	200	予防注射獣医謝礼金	報償費	200	予防注射獣医謝礼金	報償費	200	予防注射獣医謝礼金
需用費	70	消耗品	需用費	70	消耗品	需用費	70	消耗品
合計	270		合計	270		合計	270	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		270	千円 100.0%	一般財源		270	千円 100.0%	一般財源		270	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	伝染病感染のリスクを防ぐために、関係機関と連携をとり、伝染病が発生しないよう予防活動を行う。 豚丹毒ワクチン接種 800頭 日本脳炎ワクチン接種 150頭	令和5年度との相違点		令和6年度との相違点	伝染病感染のリスクを防ぐために、関係機関と連携をとり、伝染病が発生しないよう予防活動を行う。
今後の展開	家畜伝染病が流入しないよう農家および関係機関に予防についての情報を周知する。	目標	豚丹毒ワクチン接種 800頭 日本脳炎ワクチン接種 150頭	目標	豚丹毒ワクチン接種 800頭 日本脳炎ワクチン接種 150頭

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	農地耕作条件改善事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	109,175	千円	令和5年度 事業費	147,647	千円	対前年度 増減額	38,472	千円	総事業費 (令和5～7年度)	228,647	千円	事業区分	継続事業
--------------	---------	----	--------------	---------	----	-------------	--------	----	-------------------	---------	----	------	------

事業概要  未舗装農道のアスファルト舗装の実施による優良農地環境の整備を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	土木水産係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	永田 勉
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	231
事業期間	令和	5	年	～	令和	6	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
農道が未舗装のため、降雨時には路盤材の流失による路面の損傷が見られる。また、日照時には粉塵が発生し、農地に飛散し農作物の品質の低下等の悪影響を及ぼし、農業生産性の低下につながっている。	アスファルト舗装を行うことにより、農地への出入りが容易となる。粉塵の影響もなく、農地環境を改善し、農業生産性の向上を図ることができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	141,207	農道舗装工事	工事請負費	73,340	農道舗装工事			
委託料	6,440	現場技術業務	委託料	7,660	現場技術業務			
合計	147,647		合計	81,000		合計	0	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	農地耕作条件改善事業	132,882	千円	90.0%	国庫補助金名	農地耕作条件改善事業	72,900	千円	90.0%	国庫補助金名			千円	
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円	
その他( )			千円		その他( )			千円		その他( )			千円	
一般財源		14,765	千円	10.0%	一般財源		8,100	千円	10.0%	一般財源			千円	

令和5年度目標 (KPI等)	未舗装道路14路線のアスファルト舗装	令和5年度との相違点	未舗装道路7路線のアスファルト舗装	令和6年度との相違点	
今後の展開	未舗装道路7路線のアスファルト舗装	目標		目標	

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	土地改良施設維持管理適正化事業										
-----	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	0	千円	令和5年度 事業費	5,092	千円	対前年度 増減額	5,092	千円	総事業費 (令和5～7年度)	5,596	千円	事業区分	新規事業（通常）
--------------	---	----	--------------	-------	----	-------------	-------	----	-------------------	-------	----	------	----------

事業概要  津覇地区かんがい施設の改良による農業用水の供給を行う。	第五次総合計画での位置付け											担当課	
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	土木水産係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	永田 勉
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	231
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
津覇地区かんがい施設において、揚水ポンプが故障しており、受益者が農業用水を大量に使用するとき、水圧不足により用水供給ができなくなっている。水不足により作物が十分に育成せず、農業生産性の低下につながっている。	揚水ポンプを改修することにより、受益者へ安定的な農業用水の供給が可能となり、農業生産性の向上を図ることができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	4,840	ポンプ改修工事	負担金	252	事業賦課金	負担金	252	事業賦課金
負担金	252	事業賦課金						
合計	5,092		合計	252		合計	252	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )	土地改良事業連合会	3,600	千円 70.7%	その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		1,492	千円 29.3%	一般財源		252	千円 100.0%	一般財源		252	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	ポンプ改修工事の実施	令和5年度との相違点		令和6年度との相違点	
今後の展開	定期的な点検による維持管理の実施	目標		目標	

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	農業委員会運営事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	8,555	千円	令和5年度 事業費	10,197	千円	対前年度 増減額	1,642	千円	総事業費 (令和5～7年度)	30,591	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	--------	----	-------------	-------	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要  農業委員会は、農地法に基づく売買・貸借の許可、農地転用案件への意見を述べたり、遊休農地の調査・指導などを中心に農地に関する事務を執行している。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										農業委員会	
	基本施策	⑩経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	
	分野	13-1 農業の振興										担当名	比嘉和也
	その他関係施策											内線番号	236
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
遊休農地や耕作放棄地が増加していることを踏まえ、平成28年4月1日から改正農業委員会法が施行され、農地等の利用の最適化の推進に関する事務（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進による農地等の利用の効率化及び高度化の促進）が必須業務となった。	優良農地の確保と有効利用に向けて審議し、認定農業者等担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を図る。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	7,938	農委、推委、行政書士	報酬	7,938	農委、推委、行政書士	報酬	7,938	農委、推委、行政書士
旅費	153	費用弁償、県外旅費	旅費	153	費用弁償	旅費	153	費用弁償
交際費	10	会長交際費	交際費	10	会長交際費	交際費	10	会長交際費
需用費	320	消耗品、印刷製本費	需用費	320	消耗品	需用費	320	消耗品
役務費	193	通信運搬費	役務費	193	通信運搬費	役務費	193	通信運搬費
委託料	1,527	会議録、システム保守等	委託料	1,527	会議録、システム、タブレット保守等	委託料	1,527	会議録、システム、タブレット保守等
負担金	56	各団体負担金	負担金	56	各団体負担金	負担金	56	各団体負担金
合計	10,197		合計	10,197		合計	10,197	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	農委、最適化交付金	1,745	千円 17.1%	県補助金名	農委、最適化交付金	1,745	千円 17.1%	県補助金名	農委、最適化交付金	1,745	千円 17.1%
地方債				地方債				地方債			
その他( )	農業者年金委託料	167	千円 1.6%	その他( )	農業者年金委託料	167	千円 1.6%	その他( )	農業者年金委託料	167	千円 1.6%
一般財源		8,285	千円 81.2%	一般財源		8,285	千円 81.2%	一般財源		8,285	千円 81.2%

令和5年度目標 (KPI等)	遊休農地解消（年間）3ha、担い手への農地集積1.2ha、新規参入（年間）2経営体を目標として活動する。 （農業委員6名、農地利用最適化推進委員6名）	令和5年度との相違点	令和5年度の課題を確認後改善を図る。	令和6年度との相違点	令和6年度の課題を確認後改善を図る。
今後の展開	農地中間管理機構と連携を図る。	目標	優良農地の確保や担い手への農地利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進をする。	目標	優良農地の確保や担い手への農地利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進をする。

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	機構集積支援事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	2,207	千円	令和5年度 事業費	3,104	千円	対前年度 増減額	897	千円	総事業費 (令和5～7年度)	9,312	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	-----	----	-------------------	-------	----	------	------

事業概要  農業委員会が行なう農地の利用状況調査や意向調査の実施に係る費用を支援し、今後の担い手への農地集積・集約化を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										農業委員会	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	
	分野	13-1 農業の振興										担当名	比嘉和也
	その他関係施策											内線番号	236
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
遊休農地や耕作放棄地が増加していることを踏まえ、農地の利用状況調査を実施し遊休農地等の所有者に対し意向調査等を行う。 当集会は農業者の経営・収益確保のため公的代表である全国の農業委員会会長が一堂に会し、国や各政党に対し各種農業施策に関し要請決議、行動する重要な場であり、先進地の講演・活動事例発表での討議の機会はある。	意向調査を行うことによって、所有者等への今後の土地利用の意思確認ができ、必要によっては指導等を行い遊休農地の解消につなげていく。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	1,840	農地利用状況調査任用職員	報酬	1,840	農委、推委、行政書士	報酬	1,840	農委、推委、行政書士
旅費	851	全国農業委員会会長大会旅費等	旅費	851	県外旅費、費用弁償	旅費	851	県外旅費、費用弁償
役務費	193	タブレット通信費	役務費	193	タブレット通信費	役務費	193	タブレット通信費
委託料	220	タブレット保守料	委託料	220	タブレット保守料	委託料	220	タブレット保守料
合計	3,104		合計	3,104		合計	3,104	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円	千円		国庫補助金名	千円	千円		国庫補助金名	千円	千円	
県補助金名	機構集積事業	2,167	69.8%	県補助金名	機構集積事業	2,167	69.8%	県補助金名	機構集積事業	2,167	69.8%
地方債				地方債				地方債			
その他( )				その他( )				その他( )			
一般財源		937	30.2%	一般財源		937	30.2%	一般財源		937	30.2%

令和5年度目標 (KPI等)	遊休農地75ha 年間3ha解消を目標に行う。	令和5年度との相違点	令和5年度の課題を確認後改善を図る。	令和6年度との相違点	令和6年度の課題を確認後改善を図る。
今後の展開	農業委員会と農地中間管理機構と協力しながら遊休農地を解消していく。	目標	年間3ha解消を目標に行う。	目標	年間3ha解消を目標に行う。

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	中城村商工会育成補助金				
-----	-------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	2,700	千円	令和5年度 事業費	2,700	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和5～7年度)	8,100	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	---	----	-------------------	-------	----	------	------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課	
地域の商工業者が求める支援ニーズに的確に対応し、関係機関との連携による金融、経営革新、ものづくり支援、創業支援、六次産業化、事業承継、販路拡大支援など、地域経済の要となる中小・小規模企業の支援強化を図るため、中城村商工会へ補助金を交付する。			施策の大綱		5. 中城の魅力を創造し発展させます				産業振興課	
			基本施策		⑬経済と産業のさらなる発展を目指します				担当係	商工観光係
			分野		13-3 商工業の振興				担当名	新垣温子
			その他関係施策						内線番号	233
			事業期間		令和	5	年	～	令和	7

事業を実施する必要性と現状の課題			事業実施効果					
地域に根ざした商工業者の自主的な組織として設立された商工会は、会員企業の発展を支援すること使命としており、その商工会の活動を支援することで地域産業の育成はもとより地域コミュニティの維持活動や地域の活性化に結び付く。近年は、会員の高齢化に伴う事業継承が課題である。			令和3年度末時点での会員数は、419社となっている。商工会の事業活動を通じた商工業者への支援を行うことで、域内企業の経営基盤の安定と組織の強化を図ることができる。					

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	2,700	各種支援事業	補助金	2,700	各種支援事業	補助金	2,700	各種支援事業
合計	2,700		合計	2,700		合計	2,700	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		2,700	千円 100.0%	一般財源		2,700	千円 100.0%	一般財源		2,700	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	・会員数：440社以上	令和5年度との相違点	会員数増加と脱会者減少に向けた取り組み	令和6年度との相違点	会員数増加と脱会者減少に向けた取り組み
今後の展開	会員数増加と会員のニーズにあった支援の実施	目標	会員数増加と会員のニーズにあった支援の実施	目標	会員数増加と会員のニーズにあった支援の実施

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	石油貯蔵施設立地対策等補助金事業				
-----	------------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	4,312 千円	令和5年度 事業費	4,500 千円	対前年度 増減額	188 千円	総事業費 (令和5～7年度)	13,500 千円	事業区分	継続事業
--------------	----------	--------------	----------	-------------	--------	-------------------	-----------	------	------

事業概要  石油貯蔵施設が立地する周辺地域における住民福祉の向上を通じて、石油貯蔵施設設置の円滑化を図るため、石油貯蔵施設立地対策等補助金（間接補助）を活用し社会インフラの整備を実施する。	第五次総合計画での位置付け						担当課	
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます					産業振興課	
	基本施策	⑩経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係	商工観光係
	分野	13-3 商工業の振興					担当名	新垣温子
	その他関係施策						内線番号	233
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
石油貯蔵施設の設置の円滑化に資することを目的に、道路、湾港、漁港、都市公園及び水道等の公共用施設を整備することで、住民の福祉の向上を図る必要がある。	事業の実施により、地域住民の安全確保や福祉の向上を図ることができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
事業費	4,500		補助金	4,500		補助金	4,500	
合計	4,500		合計	4,500		合計	4,500	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	石油貯蔵施設立地対策等補助金	3,305 千円	73.4%	国庫補助金名	石油貯蔵施設立地対策等補助金	3,305 千円	73.4%	国庫補助金名	石油貯蔵施設立地対策等補助金	3,305 千円	73.4%
県補助金名				県補助金名				県補助金名			
地方債				地方債				地方債			
その他( )				その他( )				その他( )			
一般財源		1,195 千円	26.6%	一般財源		1,195 千円	26.6%	一般財源		1,195 千円	26.6%

令和5年度目標 (KPI等)	石油貯蔵施設立地対策等補助金を活用し、地域住民の安全確保のため公共用施設を整備する。	令和5年度との相違点	交通安全対策事業等の事業実施	令和6年度との相違点	交通安全対策事業等の事業実施
今後の展開	社会インフラ整備の実施	目標	石油貯蔵施設の設置の円滑化を図る。	目標	石油貯蔵施設の設置の円滑化を図る。

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	中城村シルバー人材センター育成補助金				
-----	--------------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	2,340	千円	令和5年度 事業費	2,340	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和5～7年度)	7,020	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	---	----	-------------------	-------	----	------	------

<b>事業概要</b>  就業等を通して高齢者の社会参加を促進するとともに地域の求めるサービスを提供することにより、高齢者福祉の増進と地域の活性化を目指す中城村シルバー人材センターに対して補助金を交付する。	<b>第五次総合計画での位置付け</b>							<b>担当課</b>				
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます					産業振興課					
	基本施策	⑩経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係	商工観光係				
	分野	13-4 働きやすい環境整備					担当名	新垣温子				
	その他関係施策						内線番号	233				
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料				

<b>事業を実施する必要性と現状の課題</b>	<b>事業実施効果</b>
本団体は、仕事を通じて社会参加し、健康づくりと生きがいを求める高齢者に対して仕事を提供するために組織されており、営利を目的とするものではありません。当然、団体自ら受注件数を増やすための営業活動が必要ではあるが、前述のとおり営利を目的とする団体ではないことから、団体運営に必要な事業費を最低限支援する必要がある。 就業率の向上が課題である。	令和3年度の実績では、会員数70名、受注契約額11,333千円、就業延人員2,088人、及び就業率72.9%となっている。 高齢者の社会参加や地域活性化、また、間接的な医療費の抑制が期待できる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	2,340	各種支援事業	補助金	2,340	各種支援事業	補助金	2,340	各種支援事業
合計	2,340		合計	2,340		合計	2,340	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		2,340	千円 100.0%	一般財源		2,340	千円 100.0%	一般財源		2,340	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数：75名</li> <li>・受注契約額：12,000千円</li> </ul>	令和5年度との相違点	就業率の向上	令和6年度との相違点	会員数と受注契約額の増加
今後の展開	会員数と受注契約額の増加	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数：75名以上</li> <li>・受注契約額：12,000千円</li> <li>・就業率75%以上</li> </ul>	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数：80名以上</li> <li>・受注契約額：13,000千円</li> </ul>

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	沖縄中部勤労福祉サービスセンター補助金									
-----	---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	840	千円	令和5年度 事業費	835	千円	対前年度 増減額	▲5	千円	総事業費 (令和5～7年度)	2,515	千円	事業区分	継続事業
--------------	-----	----	--------------	-----	----	-------------	----	----	-------------------	-------	----	------	------

事業概要  村内中小企業勤労者へ健康診断や人間ドック受診の助成、自己啓発事業などを実施する沖縄中部勤労福祉サービスセンターに補助金を交付する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	商工観光係
	分野	13-4 働きやすい環境整備										担当名	新垣温子
	その他関係施策											内線番号	233
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料					

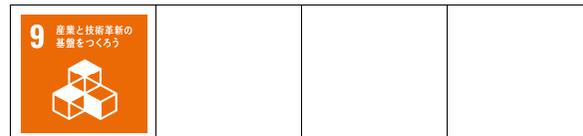
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
本団体へ補助金を交付することにより、中小企業勤労者等のための総合的な福祉事業を行うことが可能となり、福祉の向上を図るとともに中小企業の振興、地域社会の活性化を図ることができる。 村内事業所及び在住者の会員数が少ないことが課題である。	令和3年度の実績では、村内加盟事業所は9事業所、従業員数47人となっている。従業員の福利厚生が広がることで、従業員の長期雇用や職場環境の向上につながり、村内事業所の振興を図ることができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	835	各種支援事業	補助金	840	各種支援事業	補助金	840	各種支援事業
合計	835		合計	840		合計	840	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		835	千円 100.0%	一般財源		840	千円 100.0%	一般財源		840	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	加盟事業所数：10事業所	令和5年度との相違点	周知方法の見直しを検討する。	令和6年度との相違点	周知方法の見直しを検討する。
今後の展開	周知を検討し、加盟事業所数の増加を図る。	目標	加盟事業所数：11事業所	目標	加盟事業所数：12事業所

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	ホームページ委託管理事業									
-----	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	964	千円	令和5年度 事業費	964	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和5～7年度)	2,892	千円	事業区分	継続事業
--------------	-----	----	--------------	-----	----	-------------	---	----	-------------------	-------	----	------	------

事業概要  中城村への観光誘客及びグスク城主「護佐丸」の認知度向上のため、既存HP（①とよむ中城②護佐丸クロニクル）の保守管理委託を行う。	第五次総合計画での位置付け							担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます					産業振興課			
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係	商工観光係		
	分野	13-5 観光の振興					担当名	儀間		
	その他関係施策						内線番号	233		
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料		

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
世界遺産「中城城跡」の認知度は上がってきているが、中城グスク城主の「護佐丸」の認知度はまだまだ低いことが課題である。そのため、護佐丸の生涯を映像化しHPで広く公開することでその魅力を広く発信する必要がある。また、中城村への誘客促進を目的に、中城村の観光情報を広く発信するHPを維持する必要がある。	中城村の観光情報や、中城城跡、城主護佐丸の情報を広く発信することで、中城村に訪れる観光客が増え、結果として地域の活性化が期待できる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	964	システム保守管理	委託料	964	システム保守管理	委託料	964	システム保守管理
合計	964		合計	964		合計	964	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源	964	千円	100.0%	一般財源	964	千円	100.0%	一般財源	964	千円	100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	閲覧者数年間：合計20,000件	令和5年度との相違点	閲覧者数の増加や、村内への観光客数増加を図る。	令和6年度との相違点	閲覧者数の増加や、村内への観光客数増加を図る。
今後の展開	周知方法の見直しや、アクセシビリティの向上を図る。	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>閲覧者数、対前年度比3,000増</li> <li>中城城跡閲覧者数 対前年度比1,000人増</li> </ul>	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>閲覧者数、対前年度比3,000増</li> <li>中城城跡閲覧者数 対前年度比1,000人増</li> </ul>

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 <b>中城城跡共同管理協議会負担金</b>													
令和4年度 事業費	27,739	千円	令和5年度 事業費	27,628	千円	対前年度 増減額	▲111	千円	総事業費 (令和5～7年度)	83,106	千円	事業区分	継続事業

事業概要  世界遺産中城城跡の管理・運営業務を行っている中城城跡共同管理協議会に負担金を交付する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を生み出し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	商工観光係
	分野	13-5 観光の振興										担当名	新垣温子
	その他関係施策											内線番号	233
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料					

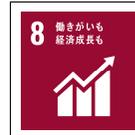
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
中城城跡共同管理協議会は中城城跡の管理運営及び活用に関する業務を担っているため、その業務にかかる費用を負担する必要がある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により来場者が減り観覧料収入が減っている為、管理運営に係るコストの見直しが課題である。	負担金を交付することにより、中城城跡の適正な管理運営及び活用を図ることができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金	27,628	運営費負担金	負担金	27,739	運営費負担金	負担金	27,739	運営費負担金
合計	27,628		合計	27,739		合計	27,739	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )	中城城跡観覧料収入	27,628	千円 100.0%	その他( )	中城城跡観覧料収入	27,739	千円 100.0%	その他( )	中城城跡観覧料収入	27,739	千円 100.0%
一般財源		千円		一般財源		千円		一般財源		千円	

令和5年度目標 (KPI等)	・中城城跡年間来場者数：15万人	令和5年度との相違点	中城城跡管理運営の改善計画の検討及び観光資源としての活用促進	令和6年度との相違点	中城城跡管理運営の改善計画の検討及び観光資源としての活用促進
今後の展開	中城城跡管理運営の改善計画の検討	目標	年間来場者数15万人の維持	目標	年間来場者数、前年度比1万人増加

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	中城村観光協会補助金									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	13,532	千円	令和5年度 事業費	13,891	千円	対前年度 増減額	359	千円	総事業費 (令和5～7年度)	40,955	千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	----	--------------	--------	----	-------------	-----	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要  観光関連事業者との連携を図りながら、将来的には自主財源を確保しながら戦略的に観光振興に取り組む体制づくりを推進するために設立された中城村観光協会に補助金を交付する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑩経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	商工観光係
	分野	13-5 観光の振興										担当名	新垣温子
	その他関係施策	中城村観光振興計画										内線番号	233
事業期間		令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料				

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
<p>沖縄県では観光を県経済のリーディング産業と位置付けており、観光の意義と沖縄県の特徴を踏まえ「世界水準のリゾート地」の実現に向け施策を展開している。本村においても、沖縄観光における成長戦略の一助となるべく、戦略的に観光振興に取り組む組織として観光協会が設立されたが、将来的に自主財源を確保しながら運営できる体制を目指すためには、組織基盤をしっかり整備する必要があることから、当面の間補助金を交付する。</p>						<p>観光振興の分野で求められる柔軟で機動力のある事業の展開が期待でき、地域活性化及び経済活性化が期待できる。</p>					

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	13,891	運営費補助金	補助金	13,532	運営費補助金	補助金	13,532	運営費補助金
合計	13,891		合計	13,532		合計	13,532	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		13,891	千円 100.0%	一般財源		13,532	千円 100.0%	一般財源		13,532	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	・会員数：65会員	令和5年度との相違点	自主財源となる収益事業の確立に向けた取り組み	令和6年度との相違点	自主財源となる収益事業の確立に向けた取り組み
今後の展開	・事務局体制及び組織基盤の強化 ・中城城跡管理運営委託の検討	目標	・ガイド育成の実施 ・観光メニューの開発	目標	・ガイド育成の実施 ・観光メニューの開発

# 実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	プロサッカーキャンプ誘致事業									
-----	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	2,106	千円	令和5年度 事業費	2,106	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和5～7年度)	6,318	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	---	----	-------------------	-------	----	------	------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課			
サッカーに適した芝を有するごさまる陸上競技場でのプロのサッカーチームによるキャンプを通して、中城村への観光客誘客促進を図ることを目的とし、サッカーキャンプの誘致活動及びサッカーキャンプの支援事業を実施する。			施策の大綱	5. 中城の魅力創造し発展させます						産業振興課		
			基本施策	⑭多様な交流が生まれる環境を創出します						担当係	商工観光係	
			分野	14-2 スポーツキャンプ等の誘致						担当名	儀間	
			その他関係施策							内線番号	233	
事業期間			令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料		

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
誘致活動やキャンプ期間中の支援を通してキャンプの定着化を図る必要がある。コロナ禍においては、キャンプを行うチームやキャンプ見学者に対し、安心安全な環境を提供することが課題である。						キャンプ実施に伴い、県内外からの観光客誘客へとつながる。また、来場者に対して、中城城跡や飲食店を周遊するスタンプラリーを実施することで、域内への経済効果や沖縄県のスポーツツーリズムに寄与することができる					

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	2,106	一般社団法人中城村観光協会への委託	委託料	2,106	一般社団法人中城村観光協会への委託	委託料	2,106	一般社団法人中城村観光協会への委託
合計	2,106		合計	2,106		合計	2,106	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金	1,685	千円 80.0%	国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金	1,685	千円 80.0%	国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金	1,685	千円 80.0%
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他( )			千円	その他( )			千円	その他( )			千円
一般財源		421	千円 20.0%	一般財源		421	千円 20.0%	一般財源		421	千円 20.0%

令和5年度目標 (KPI等)	・キャンプ見学者数：530人/1日	令和5年度との相違点	キャンプ見学者を観光誘客へとつなげる。	令和6年度との相違点	キャンプ見学者を観光誘客へとつなげる。
今後の展開	効果的な周知活動を行い見学者数の増加を図る。	目標	村内観光につながるイベント等の実施	目標	村内観光につながるイベント等の実施